

**IEP 配慮チェックリスト**  
*ACT WorkKeys* オンライン試験 (OT)

2015 年 11 月改訂

以下に特定した州の配慮評価は、生徒の IEP に書かれている教育用配慮を反映したものです。これは生徒が指示を与えられたり、教室で試験を受けるときに常に教室内で提供されているもので、これまで成功を納めています。IEP チームが記入する場合、このチェックリストは生徒の IEP の一部になります。

名前: \_\_\_\_\_ 学校名: \_\_\_\_\_ 学年: \_\_\_\_ 年: \_\_\_\_ 科目: \_\_\_\_\_

**A. 予定を立てる配慮。**試験は以下の様に行われます:

1. 時間限度を \_ 1 時間半、\_ 2 倍の時間、または \_ 3 時間に延長。(個人別)

**B. A. 配慮の設定・実施。**試験は以下の様に行われます:

1. 言葉で生徒に説明が提供される間、手話の通訳を使って。(通訳は説明のみを  
通訳します。通訳は項目の意味を明らかにしたり、または解釈をしてはいけません。)
2. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。  
**ALSDE 承認時のみ。**

**C. 録音の配慮。**試験は以下の配慮を用いて行われます:

1. 生徒の回答は筆記者によって記録されます。(個人別)
2. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。  
**ALSDE 承認時のみ。**